

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社 協和設備）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の 場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
						1 社会 問題 解決	2 資源 循環	3 気候 変化	4 経済 成長	5 不平等 の解消	6 平和 の構築	7 多様性 と inclusion	8 健康 と福祉	9 教育 と学習	10 職業 開拓	11 環境 保護	12 持続 可能な 都市開発	13 良好な 水供給	14 エネルギー アダプ テーション	15 食料 安全	16 生物多 様性保 護
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			全体会議時に教育を行い差別を無くすと共に、上司に相談しやすい体制を整えている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスマント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、バハラ等のハラスマントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			全体会議の時にハラスマント禁止の教育を行い防止に努めている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働にならないように人員を配置しています。また休日出勤には代休を取るようにして管理している。							8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人労働者の雇用はないが、現場では他社の外国人労働者が多いので、教育を行い差別、人権侵害の防止に努めている。				4.4			8.7 8.8	10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			毎月1回災害防止協議会を開催しています。作業前にK-Y活動を行い、作業中の事故に取り組んでいます。		3					8									
人 権 ・ 労 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルス推進担当者を選任して、担当者の外部講習会参加や担当者による教育を行っている。		3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			外国人、障がい者の雇用はないが、女性、高齢者の活躍できる環境は整えている。			5.1 5.5			8.5	10.2 10.3									
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			会社負担で、業務に必要な資格の取得や、スキルアップに伴う資格の取得を支援しています。		4	5.5			8	9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			正社員と一人親方との格差がないように努めている。			5.5			8.5	10.2 10.3									
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ			年1回の健康診断(全員)と希望者には生活習慣病予防検診を実施している		3				8										
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物は分類して管理し、種類ごとに適切に処理している。													11.6	12.4	14.1	
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			使用している電気、ガス、水道、ガソリン、灯油は把握しています。					7.3									13		
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			温室効果ガスの排出量は把握していないが、エアコンの温度設定やまめな消灯などで節電に心がけている。					7.2 7.3								12.4	13.3		
14	【有害化物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			全体会議で研修を行い、適切な使用、管理を行っている。		3.9		6.3									11.6	12.4		

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取扱説明があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			旋盤の切削油や発電機のガソリンや軽油が漏洩しないように対策して使用している。						6.6									15			
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			金属類は材質に分別して業者に引き取ってもらっている。													12.5	14.1				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			水道水の利用状況を把握して節水に取り組んでいる。					6.4 6.6													
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ							3.9		6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ										7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			コピー時に裏紙を使用している。												12.2	13	14	15			
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			会議時に汚職・贈収賄の禁止について教育、周知しています。															16	16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に間与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			会議時に不正競争行為に間与しないように周知、教育しています。															16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産を適切に保護、侵害しないように努めている。					8.2 8.3	9												
公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報や収集した情報は適切に管理し、必要で無くなった情報は外部に漏洩しないような形で処分しています。															16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		紛争鉱物の取り扱いはありません。																16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			上位会社、協力業者と共に認識を共有して取り組んでいる。				5		8		10	12	13	14	15	16	17				
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成していないので、作成し公表する。		3				8	9	10								17		

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取扱認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			品質検査を行い、安全性を確保している。												12.4					
30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体) 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している 【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	基本 基本 チャレンジ チャレンジ 基本 チャレンジ チャレンジ 基本 基本 基本 チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ チャレンジ			顧客からのクレームや品質事故など全員で共有し再発防止に努めている。 環境に配慮した製品を顧客に提案している。 社会課題を解決する製品を顧客に提案し採用してもらっている。 緊急修理の対応を整えている。 地区のごみ拾いなどのボランティア活動があれば参加している。 午頭に全社員に説明して共有している。 会議で法令遵守の考え方を教育して重要性を共有している。 役員が企業活動が社会に・環境に及ぼす影響について担当している。 ステークホルダーと積極的にコミュニケーションを取り、適切に対応している。 日々のKY活動で安全に対して特定、評価、対策をして安全作業に努めている。 会議で法令遵守の考え方を教育して重要性を共有している。 役員が企業活動が社会に・環境に及ぼす影響について担当している。 日々のKY活動で安全に対して特定、評価、対策をして安全作業に努めている。 会議で法令遵守の考え方を教育して重要性を共有している。 会議で法令遵守の考え方を教育して重要性を共有している。 会議で法令遵守の考え方を教育して重要性を共有している。		3.9															

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- 【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセルンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は墨字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は赤字で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格
※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定